



▲秋の美山を満喫する参加者

毎年恒例となっている「美山ワンデーマーチ」が、南丹市立宮島小学校をスタートし、大野ダム方面へ向かって歩く10^{キロ}コースと、かやぶきの里（美山町中地区）へ向かって歩く20^{キロ}コースに分かれて行われました。

美山の美しい秋の景色を楽しめるということで、全国からおよそ650人の参加者が、紅葉に染まる美山の秋を堪能しました。

「紅葉に染まる美山の秋を歩く」

(11/3・美山ワンデーマーチ・美山町)

南丹市園部スポーツフェスティバルが、南丹市園部公園周辺で行われました。グラウンドゴルフ・硬式テニス・ソフトテニス・ゲートボール・ソフトボール・バドミントン・ソフトバレーボールの種目に、地域の老人から子どもたちまで約450人が、個人やチームでさまざまな競技に参加。体力測定やゲームコーナーも設けられ、スポーツに汗を流す心地良さを感じることができました。

「体を動かしてスポーツを楽しむ」

(10/9・南丹市園部スポーツフェスティバル・園部町)



▲白熱した試合が展開

「大きな声で元気よく読もう」



▲元気に大きな声で音読できました

南丹市日吉町生涯学習センターで、京都府教育委員会主催の読書活動推進事業「声に出して読もう 南丹大会」が開かれました。日本語の美しさや、豊かな表現を学び、子どもたちに読書の楽しさを知ってもらうことを目的に、南丹・京丹波・亀岡から24校約460人の小中学生が参加し、大きな声で元気よく音読発表をしました。また、地元ボランティアグループによる人形劇が上演され、参加者たちは読書の楽しさに触れた1日でした。

(10/21・声に出して読もう 南丹大会・日吉町)

「地球資源のあり方について考える講演」

(10/8・南丹市合併記念「環境・新エネルギー」講座 講演会・八木町)

南丹市合併を記念して、南丹市八木公民館が取り組んでいる「環境・新エネルギー講座」で記念講演会が行われました。講演は市内在住で京都大学大学院芦田譲教授による「21世紀は資源争奪の時代」と題して、地球全体が抱える環境問題や、石油・天然ガスなどの天然資源の枯渇が進む現状を説明されました。芦田教授は「これからは、技術と資源および環境との『バランス』が重要である」と話され、会場に訪れた人たちは、話に聞き入っていました。



▲地球が抱える環境問題について説明されました